

砂防課長挨拶

今年4月に砂防課長に着任しました林 孝標（はやし たかすえ）と申します。

長野県砂防ボランティア協会員の皆様には、平素から県の砂防行政に対し、格別のご支援、ご協力を賜り、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。また、昨年度は令和元年東日本台風に関わる知事表彰、全国防災協会による災害復旧及び災害防止事業功労者表彰、さらには令和3年度土砂災害防止功労者国土交通大臣表彰と数々の表彰を受けられましたこと、心から敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

長野県は令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨と2年続けて大きな災害を受けましたが、協会員の皆様には緊急点検にご協力いただきました。県では、これらの災害からのよりよい復興を目指して災害関連緊急砂防事業等を推進するとともに、国による「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用しながら、土石流・流木対策、既存えん堤の除石・補強、急傾斜地の崩壊や地すべり対策などのハード対策に取り組んでまいります。

ソフト対策としましては、我が事として捉える住民の防災意識の向上を柱の一つとして取り組んでおります。協会員の皆様には、防災教育の専門家“赤牛先生”として県内各地で講義を行って頂いており、災害時にはその効果が確認されているところです。あらためて感謝申し上げます。昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、講義数が予定の半分程度に減ってしまいましたが、歩みを緩めることとならないよう、今年度はオンラインによる講義などの工夫をし、70回を超える講義をお願いしたいと考えております。

協会員の皆様には、県民の安全・安心のさらなる向上を図るため、引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和3年6月7日

長野県建設部砂防課長 林 孝標